

持続可能な原料調達基準

(第3版)

制定:2010年10月

改訂:2016年 3月

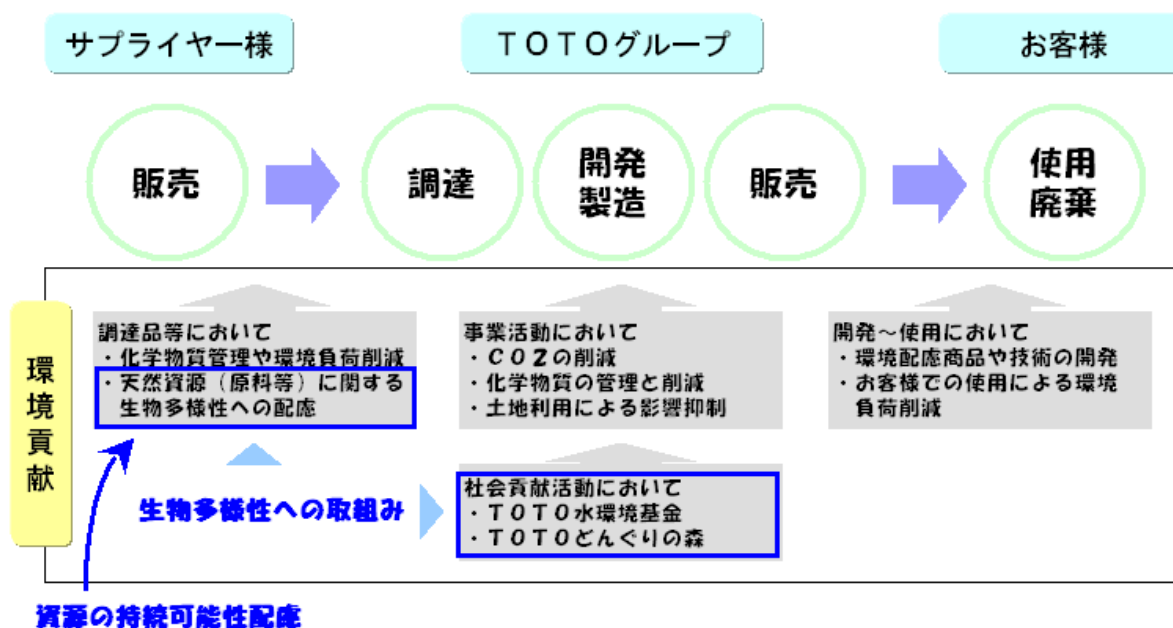
TOTO株式会社 購買本部

TOTO

1. はじめに

TOTOグループでは、社会貢献活動(TOTO水環境基金、TOTOどんぐりの森)を通じた環境保全活動の他、製品原料として調達している土石原料や木質製品等について、資源の持続可能性を配慮した取組みを進めています。

TOTOグループとお取引頂くサプライヤーの皆様には、以下の基準に準じて取組んで頂きますようお願い致します。



2. 原料調達方針

TOTOグループはグループおよびサプライヤーを通じて調達する原料について、持続可能性を配慮した取組みを積極的に推進します。天然資源の調達においては、コンプライアンスに加え、生産地の環境・生態系および地域社会に与える影響を配慮したCSR調達やリサイクル材の使用を推進することで、「資源の持続可能性の実現」と「バランスの取れた安定調達」を目指して取組んでいきます。

TOTOグループでは、調達する主要な天然資源について、以下のようにガイドラインを定め、これに沿った調達を推進していきます。

3. 原料調達ガイドライン

以下の基準に適合するものを優先的に調達する。

- ①生産地の法令等を遵守し、生産された原料を調達する
- ②労働環境に関わる安全面・衛生面の取組みが確保された環境下の原料を調達する
- ③原料の採取等に伴う地域の環境・生態系への影響が配慮されている原料を調達する
- ④労働者の人権や原料の採取等に伴う地域住民への影響が配慮されている原料を調達する
- ⑤リサイクル材を用いて生産された原料を調達する

4. 行動計画

① 品質および環境評価

- ・お客様に提供する商品としての要求品質を満たす場合、品質・コスト面の評価にコンプライアンスおよび環境視点の評価を加え、調達量を決定する。

② 情報管理およびリスク評価

- ・調達する原料について、トレーサビリティに必要な情報(原産国、商流など)を調査し、管理する。
- ・調査した結果、コンプライアンス違反などのリスクが懸念される原料は、改善を要請する。

③ 合法性および持続可能性の証明

- ・アンケート調査により合法性および持続可能性の調査を行う。
- ・必要に応じてサプライヤーや生産地をモニタリングし、事実確認を行う。